

令和6年度
県民公開講演会

2025
3/15 (土)

14:00~16:30 (開場13:45)

秋田県総合保健センター2F大会議室

〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町6-6

主催 一般社団法人秋田県医師会

後援

一般社団法人秋田県歯科医師会、一般社団法人秋田県薬剤師会、公益社団法人秋田県看護協会、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、読売新聞秋田支局、毎日新聞秋田支局、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、社会福祉法人秋田県社会福祉協議会、秋田県介護支援専門員協会、一般社団法人全国介護事業者連盟 秋田県支部

申込み方法

どなたでもご参加いただけます
当日参加OK!

※参加人数の確認のため
事前申し込みをお願いします



問合せ先



秋田県在宅医療推進センター

TEL: 050-3188-3611

mail: ainfo@ahpc.jp

地域に寄り添う
医療とケア

秋田県在宅医療
推進センターを知ろう

入場
無料

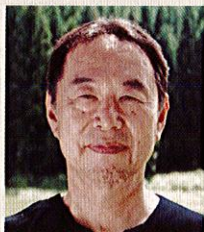
秋田県では、第8次医療計画に基づき、令和6年4月に『秋田県在宅医療推進センター』を設立しました。当センターは、郡市医師会と連携し、多職種が協力してより良い在宅医療を提供するための拠点を設けています。また、医療デジタルやACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及など、広域で取り組むべき課題にも対応しています。

県民公開講演会タイムスケジュール

14:00 開会のあいさつ

14:05 講演「自分らしい暮らしを最期まで」

～ともに紡ぐ物語とナラティブブック秋田～



伊藤 伸一 氏

伊藤医院 院長、秋田県医師会 副会長、秋田県在宅医療推進センター長
東京医科大学卒業。大学で小児外科医、消化器外科医として働く。1994-1995に米国UCLAで肝移植と小児外科の臨床研修。2000年に秋田で開業し、秋田県由利本荘市の山里の診療所で子どもからお年寄りまでを診るファミリードクターとして仕事をしている。2015年医療介護総合確保基金を使った「ナラティブブック秋田」ICT事業を開始した。ナラティブブック秋田はグッドデザイン賞2018ベスト100と特別賞を受賞している。2014年秋田県医師会常任理事、2018年から秋田県医師会副会長、2024年在宅医療推進センター長

15:05 休憩

15:15 基調講演「患者の意思決定にどう関わるか？」




尾藤 誠司 氏

医療法人財団慈生会野村病院特任副院長/総合診療科

1965年 愛知県生まれ。1990年 岐阜大学医学部卒業後、国立長崎中央病院で初期臨床研修。1995-1997年UCLA公衆衛生大学院に留学。97年より東京医療センター総合内科勤務。2024年4月より現職。臨床における意思決定プロセス、患者-医療者関係、共同意思決定に向けたコミュニケーションに関心領域として研究や社会発信を続けている。代表著書に「医師アタマ:医師と患者はなぜすれ違うのか?」(医学書院)、「患者の意思決定にどう関わるか?」(医学書院)など

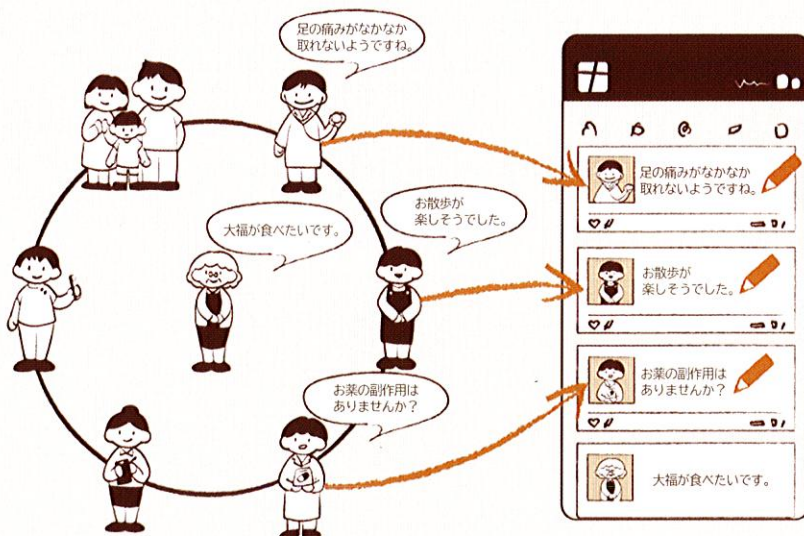
16:15 『ナラティブブック秋田への参加について』

16:25 閉会のあいさつ

 ナラティブブック秋田



詳しくはホームページを
ご覧ください



情報共有ツール「ナラティブブック」を利用した、地域に暮らす人々と、それを見守る人をつなぐ情報共有の仕組みです。

※ナラティブブック秋田は秋田県医師会が進める事業です。

お問合せ

一般社団法人秋田県医師会 018-833-7401